

授業 コード	11603	科目名	住居学	担当者		田中 栄治			
		副題	日本の住まいの歴史と住まいの問題	開講期	前期	単位数	2	DP対応	S3

【授業概要】

人間の最も基本的な生活環境である住まいについて、古代から現代までの日本の住まいの歴史と、戦後の日本の住まいの問題に関する基礎知識を学びます。

【到達目標】

1. 住まいと人間の生活や周辺環境との関連や、日本の住まいの歴史や建て方など、住環境に関する基礎知識を理解し説明できる。
2. 戦後の日本の住まいの問題の変遷を理解し説明できる。
3. 現代の日本の住まいが持っている課題を理解し説明できる。

【授業方法・計画】

授業はスライドと視聴覚メディア(DVD等)を活用しながら講義形式で進め、授業内容をより具体的に理解するためにフィールドワークを行います。フィールドワークは学外においてショールームや行政の取り組みの見学・講義を行います。そこでわかったことを各自レポートにまとめてください。また、DVD等の映像を通して建築家の設計した住宅に関する知識を深めます。

第1回	人間の生活と住まい
第2回	日本の住まい1 古代～中世
第3回	日本の住まい2 中世～近世
第4回	日本の住まい3 近代
第5回	日本の住まい4 現代
第6回	日本の住まい5 住まいの材料・構法
第7回	フィールドワーク1 住宅設備(予定:住宅設備メーカーのショールーム)
第8回	戦後日本の住まいの問題1 変遷
第9回	戦後日本の住まいの問題2 量から質へ
第10回	戦後日本の住まいの問題3 多様な住まい
第11回	戦後日本の住まいの問題4 環境問題
第12回	フィールドワーク2 行政の取り組み(予定:神戸市すまいの安心支援センター)
第13回	住まいの計画
第14回	最近の住まいから

【準備学習・復習】

準備学習: 授業に先立ち本学図書館において参考書等の当該授業の内容に関する資料で情報収集してください。また、日本史や世界史の資料や年表などで時代背景を把握しておいてください(100分)。
 復習: 授業で学んだ内容について本学図書館にある関連図書でそれぞれの時代の建築の特徴について理解を深めてください。また授業で取り上げた神戸や大阪の建築を実際に見に行ってください(100分)。

【課題に対するフィードバックの方法】

提出されたレポート課題はコメントを付して返却します。
 期末試験は終了後に問題の解説を行います。

【受講上のアドバイスおよび注意事項】

授業の中でフィールドワークを行うので、案内(授業時や掲示など)に注意してください。なお、事情により日時・場所などを変更する場合があります。フィールドワークの時は、歩きやすい靴と服装で参加してください。

成績評価方法	フィールドワークのレポート課題(40%)及び 期末試験(60%)により成績評価を行います。
教科書	授業時にプリントを配付します。
参考書	『新しい住まい学』小宮容一 他著 井上書院 『カラー版 建築と都市の歴史』光井渉・太記祐一著 井上書院 『建築の歴史 西洋・日本・近代』西田雅嗣・矢ヶ崎善太郎著 学芸出版社

SA2202	授業に関連する実務経験	建築設計事務所勤務(一級建築士)
--------	-------------	------------------